

【課題提示】

休校期間中の学習課題（4 学年）

科目名	課題内容・注意事項	所要時間	担当教員	問い合わせ先メールアドレス
応用数学 IA	<p>※郵送したプリントを参照</p> <p>動画 https://www.youtube.com/playlist?list=PLDJfzGjtVLHnFsN4JdZxQJ3F4e4Sf13p8（ヨビノリ氏の「今週の積分」）の問題を、平日に 1 問程度、ノートに解くこと。動画を見られない場合は、郵送したプリントの問題(動画で取り扱われている問題と同じ)に、平日に 1 問程度取り組むこと。</p> <p>注意：全ての問題を解く必要はない。好きな問題を選びながら自分のペースで進めてよい。高専で習った公式を用いて解いても良い。所要時間 1 問につき 30 分から 1 時間程度と思われる。補足等があれば直接皆さんにメールで連絡する。</p> <p>評価について：レポート点として評価に含める予定である。応用数学 IA の評価方法については授業開始時に改めて説明する。</p> <p>提出先：応用数学 IA の担当教員</p> <p>期日：令和 2 年度の間試験日まで(具体的な期日は、授業開始時に改めて説明する。)</p>	7.5 時間	佐藤直紀	
統計学	<p>課題の提出などは求めないが、OneDrive に置いてある PDF ファイル(おおよそシラバスの四週分に相当する)</p> <p>https://kosenjp-my.sharepoint.com/:f:/g/personal/tawara_nagaoka_kosen-ac_jp/EuxeifUjal9Hlv-fc3QlQ-sBS4JlzdV2a6Ec0LdK9T5w7Q?e=oEOqcaを参考に教科書 P.28～P.51(ただし P.39～41 の四分位と箱ひげ図の除く)まで予習を進めておくこと。</p>	4 時間	富樫瑠美	
英語演習	SDGs に関する配布プリントを完成させる。初回授業時に回収する。	1 時間	土田泰子	

国語	教科書「精選現代文 B」 pp.138～149、丸山真男 「「である」ことと「する」こと」を精読し、 わからない語句がある場合には意味を調べておく。	1 時間	猪平 熊尾	
物理学 IA	2・3年物理の特に「力学」について復習しておく。また数学的準備として、ベクトルに関する諸概念（和・差，絶対値，単位ベクトル，成分表示，内積…）と，微積分の意味と計算を復習しておく。後日，具体的な課題内容をメールにて連絡する（4月17日頃）。	5 時間	佐藤(秀)	
電磁気 学 IIA	サポートページに公開してある2回分の授業スライドについて，教科書を見ながら予習する。	3 時間	皆川	
制御工 学 IA	講義資料は講義サポートページに掲載してあるので，ブロック線図の等価変換とラプラス変換について予習しておく。	4 時間	佐藤(拓)	
電子制 御工学 実験 IV	① 「TeXによるレポート作成（実践編）」の実験テキストをECサポートページよりダウンロードして目を通し，練習問題1～5を行う。1年次の基礎情報処理のテキスト「情報処理の基礎」の13.4節に目を通し，例題13.1および13.2を行う。 ② 「信号処理プログラミング」の実験テキストをECサポートページよりダウンロードして目を通し，リスト1～7とリスト10のファイルを作成する。 ③ 「トランジスタの増幅回路とR-L-C共振回路」の実験テキストをECサポートページよりダウンロードし，2-1-1項から2-1-6項，および3-1-1項と3-1-2項について，それぞれ回答しておくこと。実験時に確認します。3年次の講義「電子回路IA,IB」及び「電気回路IB」の良い復習になると思います。	① 4時間 ② 4時間 ③ 5時間	① 高橋 ② 高橋 ③ 梅田	

メールアドレスは郵送時のみ公開（HPでは非公開）